

ITビジネスモデル委員会報告 2016年度 その4

日本事務器株式会社

「Change to Chenge

～クリエイティブな働き方に変わるために～」

講師 チーフエバンジェリスト 平山 宏 様

2016. 9. 2(金) 住友不動産西新宿ビル6号館 日本事務器 ミーティングルームにて

プレゼン内容のポイント

1. 今回は日本事務器様の新しい取り組みについて、チーフエバンジェリストの平山様からお話を頂いた

Change to Change

～クリエイティブな働き方に変わるために～

またモデルフロアとして、スチールケース社とのコラボレーションによる、業務フロアの見学とフロアー構築のコンセプトに関するプレゼンを頂いた

感想

□まず主催者側を代表して廣田様から

- ・お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございました。
- ・今回は、趣向を凝らし、新たな事にトライして頂きました。
- ・セミナー座席抽選
- ・英語でのプレゼン
- ・ソルマックでの乾杯等々

今回お伝えしたかったことは、

- ・何故？ワークスタイル変革なのか？
- ・NJCが取り組んでいるワークスタイルの変革、今後も変化するために変わっていくという(Change To Change)
- ・スチールケース社と一緒に組みながら、ファニチャー、ITという単なる道具の提供でなく、働く人いだが、自分の仕事に最適な場所、道具は？という観点からワークプレイス×デジタルワークスタイル(ITソリューション)×チェンジマネジメントの3つが揃ってワークスタイル変革が実現できるということ
それを14Fオフィスでパイロット導入、実践しているということ
こんな事が参加者皆さんに伝わっていれば幸いです。

感想(続き)

□ NJCさんが進めるワークスタイル改革について

田中社長の号令の元、社員全員が同じ方向を向き、各々が問題意識を持って改革に携わっている。そんな雰囲気を感じる事が出来て、非常に好印象でした。当社でも同じように、フリロケ、ペーパーレス、在宅勤務、ツールを使ったワークスタイル変革などを推進している途中ですが、良いところや失敗したところを共有しながら改革を進めて行けたら良いな。と思いました。

フリロケの抽選システムは、ひょっとすると今後利用させて頂く可能性があります。

□ 日本事務器様のワークスタイル変革についてお話をお伺いしました。

受託型ビジネスモデルが崩壊し、企業のグローバル化や環境変化への対応ニーズが高まるなど、従来のビジネスモデルが大きく変化しているなかで、日本事務器様がワークスタイルを変革して顧客のニーズに対応しようとしている本当の狙いが良く理解できました。

また、Sierにも関わらずITを駆使したシステム化だけでなく、スチールケース社のオフィス家具を導入して職場環境を改善することで業務効率化を図るという発想が非常に興味深かったです。

感想(続き)

□今回の日本事務器(NJC)様への訪問は、従来と異なり、NJC様としての変化への取り組みをみせていただき、とても参考になりました。特に、業務報告よりも、共有に重きを置く考え方と、それを実現するためのソリューションという内容に共感しました。

大きく変化している顧客環境と、利用可能なIT、そして実際のワーキングスペースをつかさどるオフィス什器にいたるまで、まずは自社で徹底して使い倒し、その価値を顧客へ提示してゆこうとする姿勢は見習うべきモデルであると強く感じました。ありがとうございました。

編集後記

今回は日本事務器様の新しい、またこれからも変化していく取り組みについて、お話を伺いました。特に変化のスピードが速くなっている現代社会において、自らが変化して取り残されないように対応していくという考え方は、益々重要になってくるのだろうと感じながらのセミナーでした。

スチールケース社とのコラボレーションもその1つの手段として、とにかくやってみないと判らない、失敗を恐れずにやりながら考えるというトップの姿勢を強く感じました。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

<https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>